

九州大学海外派遣留学生 最終報告書		※ 帰国後 15 日以内に提出してください。 ※ 提出された情報は、海外留学HPに掲載します。(色のついた部分は掲載しません)
留学先大学名	国立台湾大学 (国名: 台湾)	
留学先学部名(またはプログラム名)	社会学院政治学部政治理論組	
留学期間	2015 年 9 月 ~ 2016 年 6 月	
学部/学府・年次	21 世紀プログラム 学部/学府	4年次~ 5年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無 (期間:)	
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	①. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したいため	
	4. その他(具体的に記入)	
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?	4 年次に留学するため確実に卒業が遅れるのはわかっていたが、これ以上遅れることがないように単位はすべて確保した状態かつ留学中にも卒業論文の準備をしながら留学生活を行っていた。	
進路の予定	1. 就職 (時期: 4月から / ()年 ()月から) ②. 大学院進学(九州 大学 地球社会統合化学府) 3. その他(具体的に:)	
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)		
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	研究テーマが留学先と関係があり、進路選択の際ももっと留学先の国とかかわりたいという気持ちで選択した。	
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?		
1. 留学先大学について		
授業(カリキュラム等)の概要について	国際生は無料で中国語の授業が受けられ、努力次第では確実に語学力の向上につながる。選択できる中国語の授業も、テストによって振り分けられるため、ある程度は自分に合ったものを受けられる。基本の週合計6時間の中国語に追加で4時間の中国語の授業も希望次第では受けることができる。総じて言語を伸ばしたいのであれば確実に伸ばせる環境がある。 専門の授業では、国際生は学部を問わず好きな授業を受けることができる。また中国語に自信がない人は英語の授業、また日本語学科では日本語の授業もあるため留学生本人の情報収集次第で選択肢は広がる。しかし、文系のゼミは開講数がかなり少ないだけでなく、高度な中国語が求められるため、交換留学生には敷居が非常に高い。 総じてかなり自由かつ選択肢も多いため、本人の語学力次第で選択肢が変わる印象。	

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>入学前より大学側からパートナーボランティアを振り分けられる。入学当時の事務的な手続きなどはボランティアをうまく活用すれば問題なく生活を始められる。しかし、入学後のサポートは人(パートナーボランティア)によるため、かなりの部分が運である。</p> <p>住居は主に大学関係の寮に住むことになる。共同キッチン付き一人部屋から二人部屋など選択肢は様々である。入寮手続きも大学指定の日(主に)に現地に行くのであれば日本語のサポートもある。しかし指定日以外で入寮するとサポートはない。また部屋は綺麗だが壁が薄いため非常にうるさい。寮の周りには多くのお店があるので生活には困らない。</p> <p>勉学言語面は本人次第ではあるが、日本語の需要が非常に高いので、人にとっては日本語のみを使って留学を終えることもある。言語を学ぶ環境は非常に整っているため、自ら積極的に環境を使うことを勧める。</p> <p>精神面は特に困ることはないと思うが、私は自分の部屋の近くで飛び降り自殺が発生し精神的にショックを受けた。そのような非常に特殊なケースを除き、サポートも日本人も多いため問題ないと思われる。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>台湾最高学府ということもあり、現地生も現地の先生方も非常に優秀であり、身の引き締まる思いだった。また大学内の図書館や体育館など生活施設も非常に充実しており、うまく使うことができれば日本にいるよりも多くを学び大学を活用できる印象であった。留学生が非常に多く、留学生を受け入れてきた歴史も長いため、留学生に対する扱いも慣れており、多くの面で非常に便利である。</p> <p>また留学生のためのイベントが多く用意されているため、留学生活において自ら積極的に行動すれば必ず何かに関わることができ、課外活動も行いやすい環境になっている。</p> <p>さらに台湾大学には数多くのサークルや部活動が存在しており、その活動も各サークル差はあるが活発に活動している。また外国人も参加可能なものが多く、むしろ外国人の参加を奨励しているものも多いため現地学生の友達が作りやすい環境となっている。</p> <p>また利用したことはないが、校内に病院や精神カウンセリングの施設もあるため安心して留学生活を送れる。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>アドバイスは大きく三つほどある。</p> <p>一つ目は、積極的に授業にでることである。交換留学であれば、授業数も必然的に少なくなる上に、たとえ授業を履修しても最初はほぼ聞き取れないので辛く感じると思う。また台湾大学の中国語の授業は朝早い時間帯か夜の遅い時間帯しかなく、どちらを選んでも肉体的に辛いであろう。しかし授業に出ずに留学を終えたものと、授業に出てしっかり勉強したものでは語学の伸びが明らかに違うのは事実だ。私も最初は全くしゃべれない、聞き取れないという悲惨なものだったが、しっかり授業に出て真剣に学習すれば、最後は高級レベルの授業に出ている外国人と変わらないレベルに達することを証明できた。確かに最初から中国語(ないしは英語)ができるのであれば、授業に出る必要はないと思うが語学力を伸ばしたいのであれば、必ず授業に出るべきである。</p> <p>二つ目は、言語交換を積極的に行うことである。実際授業に出て、それを使う機会がないのであれば意味がない。台湾大学は外国人と気兼ねなく言語交換を行う文化を持つ大学であり、多くの人が日本語を勉強したいと考えている。この環境をうまく使えば、必ず言語交換のパートナーが見つかるので、積極的に動くことを勧める。</p> <p>三つ目は、台湾大学以外の場所でも積極的にコネクション作りをすることだ。台湾は多くの日系企業が進出しており、数多くの駐在員、企業家が住んでいる。私はあまりそういった場所に行かなかったが、就職活動をする予定であれば、積極的に現地にいる企業とアポイントをとり、訪問することをお勧めする。しかし実情正式な訪問はなかなか相手にしてもらえないので、現地の日本人から紹介してもらう方法をお勧めする。</p> <p>つまり積極的に動けばどの分野でもそれなりの結果は見込めるので、とにかく行動することをお勧めする。</p>
--------------------------------	--

<p>2. 事前手続き(ビザ申請など)</p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>居留ビザ</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>台北駐大阪経済文化福岡分處</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>①パスポート(原本) ・必要残存期間:申請時 15ヶ月以上 ②証明写真 2枚 ・縦 5.0 cm×横 4.0 cm ・6ヶ月以内に撮影されたもの。 ・背景は白無地でサイズ厳守 ③オンライン申請書 ・申請者によるサインのうえ提出。 ④往復予約済航空券または第三国へ出国するための航空券</p> <p>まずはインターネットで申請してその後福岡市内にある事務所に提出に行く。 その際健康診断書が必要になるのでHPを確認して現在何の検査がいるか確認する必要がある。 事務所申請後2日くらいで出来上がるため受け取れば終了。</p> <p>しかし現地の移民局(小南門)で再度申請が必要のため、留学先での住所、携帯電話番号、受け入れ機関からの受け入れ証明書、パスポートなどをもっていく必要がある。しかし多くの場合受け入れ大学が外国人向けに大学で申請の説明会と大学内での申請会を行ってくれるので心配はない。</p>

手続きに要した時間	総じて2週間前後
その他必要な事前手続き	ビザについてはないが、授業の履修登録は少し複雑なため、現地ボランティアに聞くのが良いと思われる。学生寮の手続きは非常に簡単なので心配なし。
3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>まずは平均的な一日の紹介からしたいと思う。</p> <p>朝は8時から中国語の授業があるため、基本的に7時には必ず起きて準備をします。その後元気と時間があれば、朝ご飯を学校内の朝ご飯や、もしくはコンビニなどで買い授業に向かいます。</p> <p>授業は基本的に50分×2が一つのセットとなっており、間休憩がある方が多いです。</p> <p>英語授業と中国語の授業があり、好きなものを学期の初めに選べますが、基本的に中国語で開講されているものが多いため、言語レベル問わず結果的に挑戦することをお勧めします。また、国際生のための授業も多く用意されているので、早めに情報を集め、履修登録することをお勧めします。</p> <p>お昼は学校内外あちこちにお店があるので友達と一緒に食べに行くのが普通です。</p> <p>一日の授業数にばらつきはありますが、専門の授業を取っていれば17:20までは授業があるのでその後帰宅となります。帰宅後はサークル活動や個人の言語交換など人それぞれなので自分にあった留学生活をおくれます。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 10万円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費: 3万5千円、光熱水料: 2千円、通学費:寮に住めば0円だが自転車をかうことをお勧めする、 食費: 5万円、電話代:1500円、インターネット代: 年間で2000円、 書籍代: 全額で3万円 その他:(具体的に) 学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば)上記のネット代2000円 (徴収された費用の名目を具体的に:)</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>特にない</p> <p>全て台湾でそろおうが、冬は意外と寒いので冬服は持って行った方がよい。</p> <p>人によってはお腹を壊すのと薬が合わない可能性があるので常備薬は持参することをお勧めする。</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>治安もよく、現地人も人が良いので特に心配することはないが、ごくまれに恋愛の罫れからストーカーにあったり、寮のセキュリティの問題から不審者が入ってきたりとトラブルがあるのは間違いないので気を付けたほうがよい。</p> <p>また気温が非常に高いため体調管理には気を付けたほうがよい。同じように衛生面も夜市文化があるためあまりよくないので気を付けたほうがよい。</p> <p>また今後は台湾と中国との関係が悪化すると考えられるので、万が一の時のために安全確保と政治面での情報収集は役に立つと思う。</p>

<p>お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。</p>	<p>最も良い方法はクレジットカードによる現金引きおろしである。台湾のコンビニでは基本的に日本のクレジットカードでお金が引き下ろせる上にレートもよく、さらに台湾で講座を開く必要がないので楽である。しかしクレジットカードはトラブルがあるのも確かで、情報を盗まれる可能性があるのも完璧ではない。</p> <p>次によいのが新生銀号のキャッシュカードである。理由は上記のクレジットカードと同じであるが、レートがあまり良くない。</p> <p>残りは現地で講座を開くことである。まとまったお金があるのであれば、入国の際に現金で持ち込み、生活に応じて両替し、台湾の口座に入れるとよい。口座の開設もパスポートとビザがあれば簡単に作れるが、問題としては口座開設の際の手間と、帰国時に口座を閉鎖しなければならない点である。</p>
---	---

<p>4. 住居、生活環境</p>	
<p>住居の種類(○印をつける)</p>	<p>・<input checked="" type="radio"/> ・ホームステイ ・民間アパート ・その他()</p>
<p>住所／電話番号</p>	<p>臺北市中正區思源街 16 之 3 水源宿舍 B 棟</p>
<p>費用(月額)</p>	<p>8800 台湾ドル</p>
<p>どのようにして見つけたか</p>	<p>国立台湾大学交換留学登録の際に同時に申し込んだ。 多くの外国人が住むことになる。</p>
<p>次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。</p>	<p>登録が簡単で、大学にも近く、家賃も外で借りるより安いので推薦できる。しかし壁が薄く、台湾人が少ないという2点が欠点。</p>

<p>留学生を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報</p>	<p>生活上特に困ることはほぼないが、体調管理が難しいのでそこだけ気を付ければよい。親日家が多く治安も悪くないので安心して留学生を送れる。</p>
------------------------------------	---

5. 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト

サイト名	URL	コメント
<p>台北駐日経済文化代表処</p>	<p>http://web.roc-taiwan.org/jp_ja/index.html</p>	<p>基本情報はこちら。必ず見るべき。</p>

6. その他の特記事項

特になし